

GO GO 農大

2025
7月号

徳島県立農林水産
総合技術支援センター
農業大学校新聞

農業法人バスツアー

6月25日、1年次生が就職活動の一環として、県内の農業法人3社を見学しました。1社目の石井養鶏農業協同組合さんは、地鶏の出荷羽数が全国1位である「阿波尾鶏」のひよこを生産しており、ふ卵から育成、販売までの各工程について説明していただきました。説明会場では産まれて間もない雛も見学させてくれました。可愛い姿を見ることができ、学生たちは「命」



の飼養器械や設備の紹介をしていただきました。販売商品の中で針のない無針注射器は学生たちにとって興味深く、希望者には実演までさせていただきました。



を再認識しました。

また、関連会社のアイピー通商さんには、同社の販売商品である家畜

2社目の(株)リバーファームさんは小松菜やミニチンゲンサイを中心に生産・販売している農業法人であり、近年では、農福連携の取組や、県内の若手農業者4人で販売とコンサル業務も行える(株)菜々屋を設立するなど、農産物の販売効率を上げる新たな事例について、お話を伺いました。



3社目の(株)服部製糖所さんは、和三盆の原料となる竹糖を生産する農業法人で、6次産業化にも力を入れています。和三盆を使用した「おはぎ」は花の形をした彩り豊かな人気商品で、完成までの、きめ細やかな作業工程を視察させていただきました。

今回の農業法人バスツアーは学生達にとって将来の就職活動に備える貴重な体験となりました。



子牛のセリ視察

7月3日、2年次生が課外授業で県内唯一の牛のセリ場である「J.A全農とくしま畜産センター」を訪問し、月1回程度開催している子牛のセリを視察してきました。

今回のセリでは、合計で84頭が出品されていて、子牛でも大きいものは約400kgの体重があり、初めてその買値ある姿を間近で見た生徒達は、終始驚いてばかりでした。

また、最高の落札額が数十万円という結果には、1頭毎の取引単価の高さを改めて知ることができて、畜産業に対する興味を深めることができました。

